

金沢区青少年の地域活動拠点
運営団体選定結果報告書

令和4年12月

1 選定方法

(1) 手順

- ア 選定にあたり、青少年の地域活動拠点運営団体選定にかかる検討会（以下、「検討会」という。）において、応募団体から提出された応募書類及びヒアリングを基に、各委員が各団体の意見書を作成しました。
- イ 青少年の地域活動拠点運営団体選定評価委員会（以下、「選定評価委員会」という。）において、応募書類及び検討会各委員の意見書を参考に、選定評価基準に沿って、応募団体を評価しました。なお、評価は、各委員 120 点満点の計 600 点満点とし、最低基準を 360 点としました。
- ウ 選定評価委員会の評価を基に、運営団体を選定しました。

(2) 検討会 委員（50 音順）

魚谷 晶子	金沢区民生委員・児童委員協議会主任児童委員代表
高林 泰雄	金沢区中部地区連合町内会会長
福田 幸男	横浜国立大学名誉教授
水谷 裕子	NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク理事長
山崎 尚人	金沢区青少年指導員協議会会長

(3) 選定評価委員会 委員（役職）

こども青少年局青少年部長
こども青少年局青少年育成課長
金沢区地域振興課長
金沢区こども家庭支援課学校連携・こども担当課長
教育委員会事務局南部学校教育事務所指導主事室長

2 選定結果

(1) 応募団体

2 団体から応募がありました。

(2) 選定結果

選定の結果、次のとおりとなりました。

順位	団体名
第 1 位（運営団体）	特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

(2) 評価

(※配点及び応募団体の採点欄は、選定評価委員会の委員5人全員の合算点です。)

評価項目		配点	応募団体の採点	
			団体A	団体B
基本方針	(1) 青少年育成施策に関する理解について	25	15	18
	(2) 事業実施期間5年間の目標と計画方針について	50	26	34
事業実施計画	(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供	100	60	64
	(2) 中・高校生世代を中心とした青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	100	64	68
	(3) 中・高校生世代を中心とした青少年を対象とした、地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	100	64	76
	(4) 青少年育成に取り組む地域団体・機関及び支援者との情報交流やネットワーク及び人材育成	100	68	68
	(5) その他（保護者へのアプローチや金沢区の特性・課題を踏まえた事業の実施等）	75	45	60
事業運営	(1) 収支計画について	25	8	15
	(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みについて	25	11	16
合計点数		600	361	419

3 選定評価委員会における主な意見

(1) 団体A

- ・団体の温かい想いで活動していることが分かる一方、選定期間が5年間であることを考えると、事業計画や資金計画に具体性が欠ける。
- ・金沢区全体で事業をやっているよう、様々な団体と繋がっている点が評価できる。
- ・(企業と連携した)商品開発などの事業は、子どもたちの自己肯定感を高めるために非常に役立つ。お金の教育にもつながるので、期待したい。

(2) 団体B

- ・実績もあり、安心感がある。
- ・これまでと事業内容が変わらない。中高生を中心とした世代の社会参画につながるような事業を進めてほしい。
- ・地域の力をうまく利用して、事業内容の拡充と利用者の拡大につなげてほしい。
- ・計画に具体性はあるが、中高生にとって、より魅力的な事業展開や、拠点の活動を知ってもらうための広報活動に、これまで以上の尽力を期待したい。

4 主な選定スケジュール

時期	手続き等
令和4年10月3日(月)～10月28日(金)	公募期間(申請の受付)
令和4年10月3日(月)～10月14日(金)	質問の受付
令和4年10月13日(木)	現地見学会
令和4年11月14日(月)	①選定にかかる検討会開催(書類選考、団体プレゼンテーション、ヒアリング) ② 選定評価委員会開催

(参考：選定評価基準)

評価項目	審査の視点	配点
1 基本方針		15
(1) 青少年の健全育成や困難を抱える若者の自立支援への取組の考え方について	・「横浜市中期4か年計画」政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」や「横浜市子ども子育て支援事業計画」の基本施策②「学齢期から青年期までの子ども・青少年の育成施策の推進」を踏まえた事業計画になっているか。	5
(2) 事業実施期間5年間の目標と計画方針について	・期間中の具体的な達成目標とその計画方針が示されており、実現性があるか。	10
2 事業実施計画		95
(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供	・青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供について、取組内容が具体的に示されており、実現性があるか。	20
(2) 中・高校生世代を中心とした青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	・青少年が仲間や多世代と交流する機会の提供について、具体的に示されており、実現性があるか。	20
(3) 中・高校生世代を中心とした青少年を対象とした、地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	・地域資源を活用した社会参加プログラムの実施について、具体的に示されており、実現性があるか。あわせて地域の様々な団体との連携が見込めるか。	20
(4) 青少年育成に取り組む地域団体・機関及び支援者との情報交流やネットワーク及び人材育成	・地域の様々な団体・機関・施設との交流や連携、人材の育成事業の企画について、具体的に示されており、実現性があるか。	20
(5) その他(保護者へのアプローチや金沢区の特性・課題を踏まえた事業の実施等)	・保護者向け事業の企画や広報活動、その他の金沢区の特性・課題を踏まえた提案事業について、具体的に示されており、実現性があるか。	15
3 事業運営		10
(1) 収支計画について	・利用者負担の考え方を含めて、合理的な収支計画が示されており、応募団体の提案する補助金額が適正であるか。	5
(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組について	・人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組が具体的に示されているか。	5
		120